

インスペクション(建物状況調査)のすすめ

リフォームをするときには、住まいの コンディションをチェックしましょう！

リフォームの計画を立てるときには、併せて建物点検やインスペクション(建物状況調査)で住まいのコンディションや現状の性能を確かめましょう。住まいの不具合を解消し、希望する暮らしを実現するリフォームを成功させるために有効です。

インスペクション(建物状況調査)のメリットの例

- ・ 専門家^{*}に調査してもらうことで、家の健康状態がわかる ※国土交通省の定める講習会を修了した建築士等
- ・ 利害関係のない専門家に中立な立場で報告してもらえる
- ・ 本当に必要な工事、不要な工事が明確になる
- ・ 工事に優先順位をつけるのに役立ち、適切なリフォームができる
- ・ 見積もり内容を確認して契約するので、トラブルの防止につながる
- ・ 診断結果等をもとに長期のメンテナンス計画を立てることができる



Point!

建物のコンディション チェック方法は？

調査方法や内容によって、点検レベルから本格的な建物調査までさまざまな調査方法やサービスがあります。

建物の性能を調べるためには、耐震診断やインスペクション(建物状況調査)など、一定の費用をかけてきちんとチェックしたいものです。

■建物のコンディションチェック例

方法	概要	備考
自己点検	住まい手によるセルフチェック。目視による室内外の点検が中心	定期的に行います
業者による点検サービス	リフォーム会社や工務店など、室内外をチェックしてもらう。目視のほか機器による測定も	リフォーム実施時にサービスしてもらえることも
耐震診断	建築士などの有資格者による建物調査。診断結果に基づき補強や改修案を提示してくれる	建物の築年によっては自治体の補助がある場合も
インスペクション(建物状況調査)	国土交通省の基準に従った、原則として目視による非破壊調査	リフォーム時だけでなく、中古住宅購入の際の活用も

ご存じですか？

インスペクション (建物状況調査)って どんなことをするの？

インスペクション(建物状況調査)は原則として目視による非破壊の検査です。建物の劣化や不具合状況を把握するために、建物の基礎、外壁などの構造上主要な部分・雨水の侵入を防止する部分に生じているひび割れや雨漏りなどを調査します。自己点検はふだん定期的に行いつつ、必要に応じてプロの目によるコンディションチェックをしてもらいましょう。

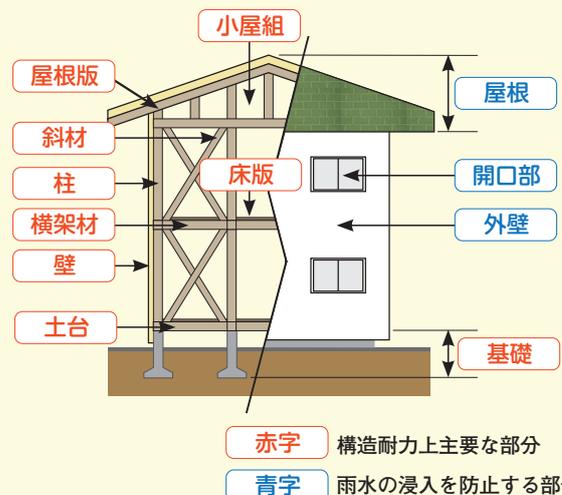


基礎調査



土台・床組・基礎調査

■木造戸建て住宅(2階建て)の骨組(小屋組、軸組、床組)等の構成



写真提供：(一社)住宅瑕疵担保責任保険協会

【参考】「国土交通省：建物状況調査(インスペクション)を活用しませんか？」
<https://www.mlit.go.jp/common/001219899.pdf>

